

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

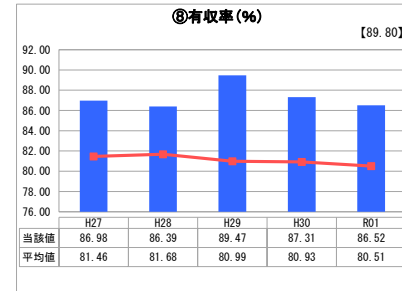
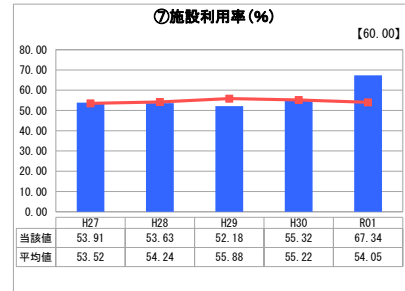
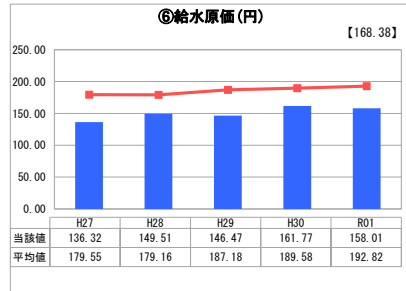
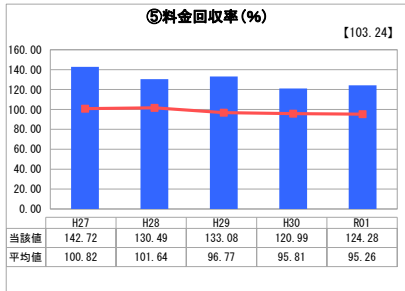
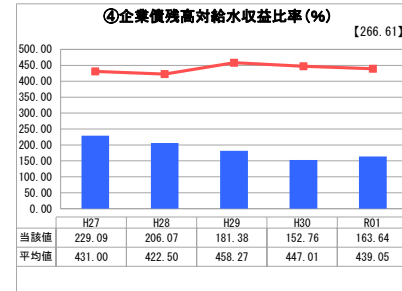
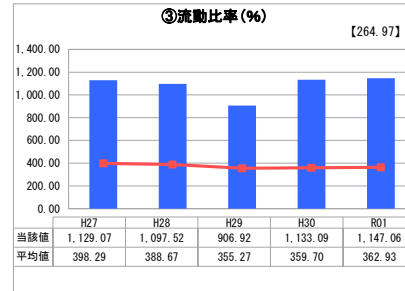
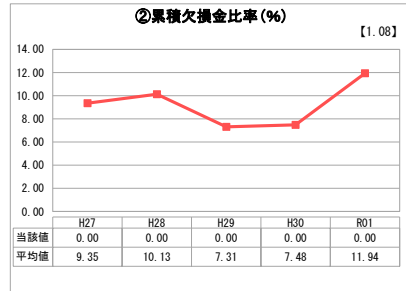
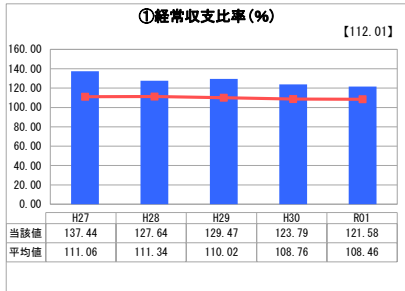
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)	
-	91.03	46.54	3,740	

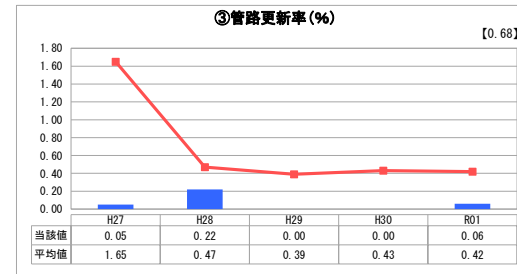
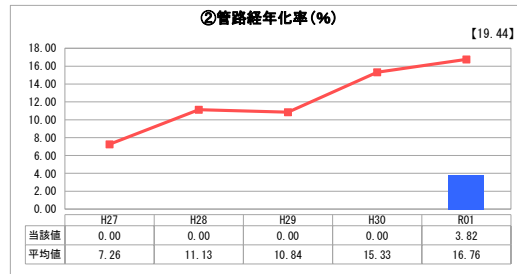
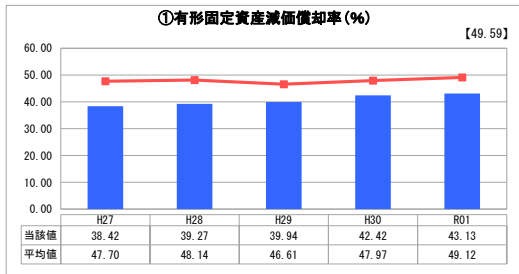
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,069	793.29	36.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,396	15.78	848.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は単年度の黒字を示す100%を超えているが、給水収益は減少傾向にある。今後も更新投資等に充てる財源を確保しつつ健全経営に努める。
- ② 累積欠損金は発生していないが、簡易水道事業との経営統合により、施設の維持管理経費の増大が見込まれるため、より一層の営業活動の効率化に努める。
- ③ 本年度は健全な数値であるが、令和2年度以降、簡易水道との経営統合により、企業債の償還が著しく増加することで流動負債が上昇し、経営を圧迫することが見込まれる。しかしながら、現金基準による一般会計からの補助金収入により、繰入金の減少は若干抑えられる。
- ④ 企業債残高対給水収益比率について、類似団体と比較して低くなっているが、令和2年度以降、簡易水道との経営統合により、企業債残高が著しく増加する見込みであり、類似団体並、若しくはそれ以上の比率になると予測される。
- ⑤ 料金回収率は基準の100%を超えているが、更新投資等に充てる財源を確保しつつ、健全経営に努める。
- ⑥ 類似団体と比較しても約30円程度安い状況となっている。
- ⑦ 施設利用率は、配水能力が減少したことにより上昇している。
- ⑧ 有収率が昨年度比で低下したため、引き続き漏水調査を実施し、有収率の維持、向上を図っていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 老朽化の状況は、数値が100%に近いほど法定耐用年数に近いことを表している。令和元年度の数値が43.13%となっており、類似団体に比べれば低いものの順次施設の更新を行っていく必要がある。
- ② 管路経年化率は類似団体と比較しても低くなっているが、法定耐用年数に近い管路もあることから順次更新を行っていく必要がある。
- ③ 管路更新率も近年類似団体と比較して低くなっているが、法定耐用年数に近い管路もあることから順次更新を行っていく必要がある。

## 全体総括

今後の事業運営においては、これまでの水需要動向等を勘案すると、給水収益が減少傾向で推移するものと見込まれるなか、施設の更新及び企業債の償還等があり、今後の経営状況は、依然として厳しいものとなっている。

また、今後は簡易水道との統合により、一時的に数値は悪化するが、料金体系の見直しや設備投資を計画的に行うことで、緩やかに、長期的に改善していけるよう努めたい。